

ブロナンセリン錠「DSEP」 を服用される患者さんにご家族の方へ

成人

このお薬は、脳内の伝達物質のバランスを整えて、
強い不安や緊張感、意欲の低下などの症状を
やわらげるお薬です。



●錠剤は実物大です。



ブロナンセリン錠「DSEP」を服用される前に

次のような方は、服用前に必ず医師または薬剤師にお伝えください。

- 以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状があらわれたことがある方。または、こん睡状態になったことがある方。
- 妊娠または妊娠している可能性がある女性、授乳中の女性
- 他に薬などを使っている方（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）

（裏面も必ずお読みください）



服用方法について

- 通常、成人にはブロナンセリンとして1回4mg、1日2回食後に服用することから始め、徐々に増量されます。維持量は1回4～8mgを1日2回食後に服用します。年齢・症状により適宜増減されますが、1日最大量は24mgです。
※服薬量は患者さんの症状にあわせて医師が決めます。
- 空腹時に飲むと期待した効果を得られないことがあるため、食後に飲んでください。
- 飲み忘れた場合は、気がついた時点で食後または軽食をとった後に1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は服用しないで、その後は指示された時間から飲んでください。**絶対に2回分を一度に飲んではいけません。**
- 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。

医師または薬剤師の指示なしに、自分の判断で服用を中止したり、量を減らしたりすると、病気が悪化することがあります。指示通りに飲み続けることが重要です。



服用中に注意していただきたいこと

次のような症状に気づいたら、医師または薬剤師に相談してください。

主な副作用として、パーキンソン症候群(手足のふるえ、筋肉のこわばり、動きが遅い)、アカシジア(じっとしていられない)、不眠、ジスキネジア(顔、特に口の周囲の絶え間ない不随意運動)、眠気などが報告されています。

まれに下記のような症状があらわれ、【 】内に示した副作用の初期症状である可能性があります。このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- 高熱、筋肉のこわばり、手足のふるえ【**悪性症候群**】
- 手足の筋肉の痛み、こわばり、しびれ【**横紋筋融解症**】
- 顔、特に口の周囲の絶え間ない不随意運動【**遅発性ジスキネジア**】
- 食欲不振、吐き気・嘔吐、著しい便秘【**麻痺性イレウス**】
- のどが渇く、水を多く飲む、尿の量や回数が多い【**高血糖、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡**】



上記以外にも気になる症状があらわれた場合は、医師または薬剤師に相談してください。



その他の重要な注意

- 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがありますので、自動車の運転や危険を伴う機械の操作はさけてください。
- アルコールは薬の作用を強めることがありますので、注意してください。
- グレープフルーツジュースによってお薬の作用が強くあらわれることがありますので、一緒に飲まないでください。

連絡先(医療機関名)



第一三共エスファ株式会社

EPBL01P00301-1

2025年7月作成